

実験3 鉄と硫黄の混合物を加熱したときの変化

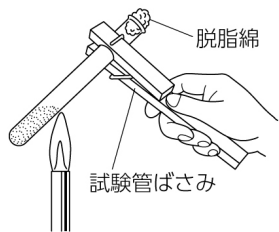
目的

準備

☐鉄粉 ☐硫黄(粉末) ☐5%塩酸 ☐試験管(4) ☐試験管立て(金属製) ☐試験管ばさみ
☐乳ばち ☐乳棒 ☐金網 ☐ガスバーナー ☐フェライト磁石 ☐薬さじ ☐スポイト
☐脱脂綿 ☐薬包紙(2) ☐針金 ☐マッチ ☐安全眼鏡

方法

- ① 鉄粉3.5gと硫黄2gを乳ばちでよく混ぜ合わせ、全体の4分の1を試験管Aに、残りを試験管Bに入れる。
- ② 試験管Bの混合物を右の図のように加熱し、赤く色が変わりはじめたら加熱をやめてようすを観察する。
- ③ 試験管A、Bにフェライト磁石を近づけ、つき方を比べる。
- ④ 試験管A、Bの物質を少量ずつ別の試験管にとり、塩酸を加えて発生する気体のにおいをかぐ。



注意 換気をじゅうぶんに行う。やけどに注意する。
実験で発生する気体を深く吸いこまないようにする。

結果

- ・加熱をやめた後の試験管Bのようす

- ・加熱前後の物質の性質のちがいをまとめる。

	鉄と硫黄の混合物(試験管A)	加熱後の物質(試験管B)
磁石へのつき方		
塩酸を加えて発生した気体のにおい		

考察

まとめ